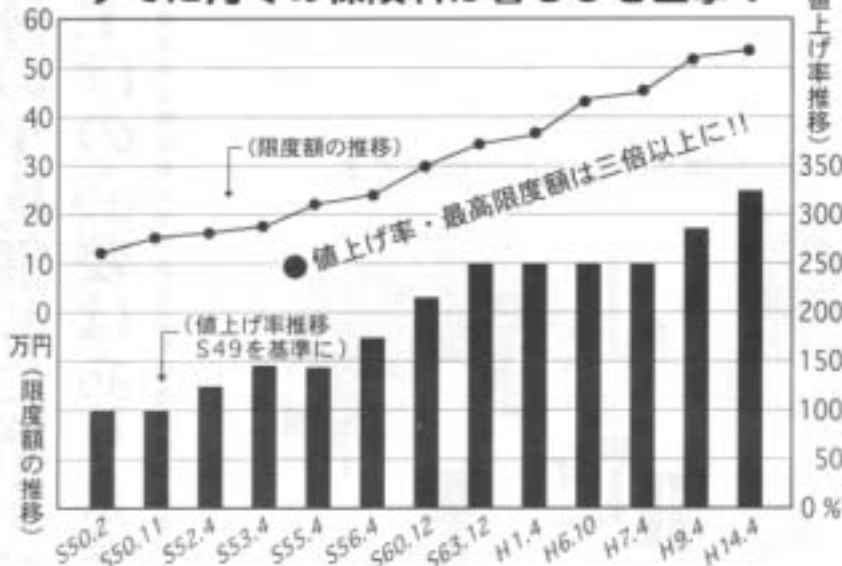


わずが三回の審議で国保料値上げの答申案を採決 国保料値上げ反対の声を大きく!

「現行の国保料でもすでに「高くて払えない」との市民の切実な声がある。」

本原市長が平均14.96%の引上げを諮問。値上げ市の大きい世帯で、年9万円も増え、審議委員からも異論が続出。ところが、たった3回の審議で「引き上げは止むなし」との答申が賛成多数で可決されました。しかし、一般会計からの繰入金を増やすべき、との付帯意見も盛り込まれたので、今後引上げをめぐる攻防は、予算議会に移して行われます。

すでに月々の保険料は暮らしを直撃!



「ただでさえ、リストラ・倒産など続出。庶民の暮らしは大変なのに引き上げは断じて許せません!」

堺市の国保料は他市に比べこんなに高い

(平成12年度)

堺市の1世帯の年間平均保険料	8万2394円
府下の1世帯の年間平均保険料	7万8505円
中核市の1世帯年間平均保険料	7万0129円
政令都市1世帯年間平均保険料	7万7616円

■ 大阪府下44市町村中・15番目
■ 全国の中核市27市中・7番目
■ 目指す政令市12市との比較ではダントツ高い理由は、繰入金(補助金)の差によるものです。

Vol.28
2002年
2月

こんにちは!

日本共産党堺市議会議員団

いきいき情報

☎ 072(233)1101 · FAX 072(223)4705

日本共産党堺市議会議員団

四本正士 229-2711	石谷花子 232-1485
せりう幸一 245-6082	岡井つとむ 255-2568
奥村健二 299-8969	平松良平 259-2883
くりこま栄一 244-0517	なは谷けい子 292-5507
城 勝行 298-6362	日本共産党堺北ニュータウン 生活相談所長
いぬい 恵美子 236-2822	げん中みお子 297-7989
森 よりのぶ 270-7308	

国保財政の悪化は、国による国保制度の相次ぐ改悪が最大の原因!

国庫負担金(国の補助)を大幅に削減

●堺市国保会計の、歳入に占める国庫負担の割合の推移
(1983年度)

54.15%

約100億円
相当の削減

(2000年度)

37.32%

国保加入者は年金生活者の増加や、リストラ・倒産の増加も伴って、加入者の62.6%が所得130万円以下という実態です。国保財政が悪化するのも当然の現状です。従って国庫負担を元に戻せるとともに市独自に繰入れ金の増額を図ることが重要です。



市庁舎前で、市民に国保料値上げ反対を訴える宣伝行動

国庫負担金の改善を
国に求めるとともに

一般会計(本会計)からの繰入(補てん)を
府下自治体の平均額並に増やせば
国保料値上げの必要はありません。

とんなに低い、堺市の繰入れ額

- ▶ 府下44市町村中・40位
- ▶ 府下33市中・32位
- ▶ 全国中核市27市中・18位



「市民の健康を守る」との立場から、いずれの自治体も国保財政への繰り入れに力を入れていますが、ただでさえ、深刻な不況で市民のくらしが大変なときに、国保料の値上げは断じて許せません。三月の予算議会で値上げ案が提出されますが、市民の命と健康を守るべき行政の責任を問いつつ、国保料の値上げを許さぬため、わが党は全力で奮闘します。

堺市の1人当たり年間繰入れ額	加入者 一人当たり	1万8937円
府下市町村の年間平均繰入れ額	加入者 一人当たり	2万6359円
府下33市の年間平均繰入れ額	加入者 一人当たり	2万7994円
全国中核市の年間平均繰入れ額	加入者 一人当たり	2万1080円
全国政令市の年間平均繰入れ額	加入者 一人当たり	3万5831円